2025年３月期 第３四半期 決算補足説明資料

2025年２月

日本金銭機械株式会社

東証プライム市場 / 証券コード：6418

本資料の内容

- **第３四半期連結業績ハイライト**
- **第３四半期連結業績概要**
  - 売上高増減要因
  - 営業利益増減要因
- **セグメント別概要**
  - グローバルゲーミング
  - 海外コマーシャル
  - 国内コマーシャル
  - 遊技場向機器
- **通期連結業績予想**
  - セグメント別業績予想
- **株主還元**

- **参考資料**
  - 会社概要
  - 沿革
  - 株価・PBR・ROE
  - 連結貸借対照表
  - 連結キャッシュ・フローの状況
  - 設備投資額・減価償却費・研究開発費
  - 為替影響
  - 市場シェア
  - Topics－各事業における取り組み
  - サステナビリティへの取り組み

本資料の内容

- **第３四半期連結業績ハイライト**
- **第３四半期連結業績概要**
  - 売上高増減要因
  - 営業利益増減要因
- **セグメント別概要**
  - グローバルゲーミング
  - 海外コマーシャル
  - 国内コマーシャル
  - 遊技場向機器
- **通期連結業績予想**
  - セグメント別業績予想
- **株主還元**

- **参考資料**
  - 会社概要
  - 沿革
  - 株価・PBR・ROE
  - 連結貸借対照表
  - 連結キャッシュ・フローの状況
  - 設備投資額・減価償却費・研究開発費
  - 為替影響
  - 市場シェア
  - Topics－各事業における取り組み
  - サステナビリティへの取り組み

第３四半期連結業績ハイライト

前年同期比で増収増益

■売上高

グローバルゲーミング市場：カジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が増加

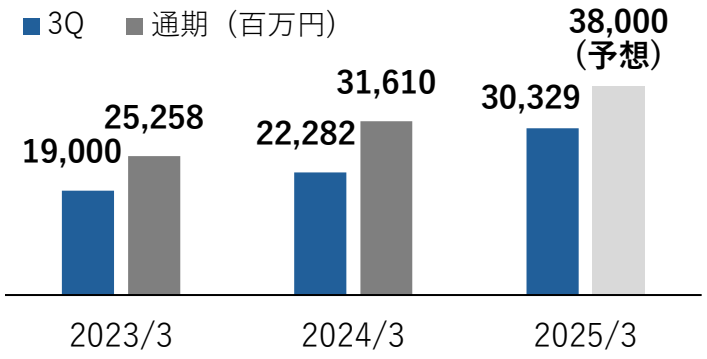
国内の各市場：中間期までに新紙幣の改刷対応における更新需要は一巡した一方、
駐車場精算機及び飲食店券売機向けの紙幣還流ユニットの販売が順調に推移

■営業利益

売上高の増加、特に中間期までの新紙幣の改刷対応に伴う収益性の高い製品の販売増加による影響が寄与

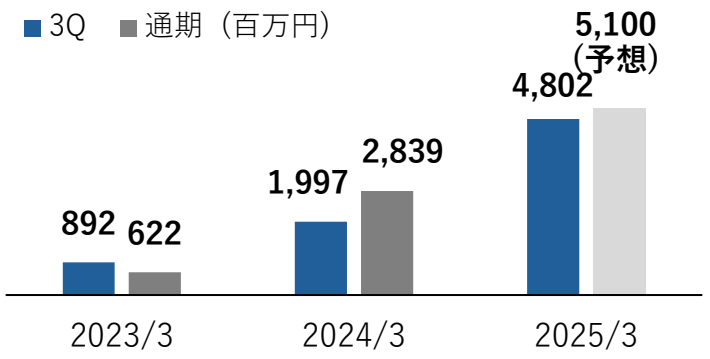
売上高

30,329百万円　前年同期比 36.1%増



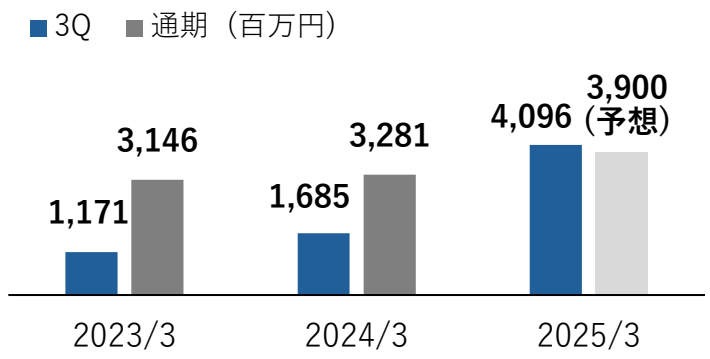
営業利益

4,802 百万円　前年同期比 140.4%増



当期純利益

4,096百万円　前年同期比 143.0%増



本資料の内容

■ 第３四半期連結業績ハイライト

■ **第３四半期連結業績概要**

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

第３四半期連結業績概要

単位：百万円		2024/3 3Q		2025/3 3Q		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		22,282	100.0%	30,329	100.0%	8,047	36.1%
営業利益		1,997	9.0%	4,802	15.8%	2,805	140.4%
経常利益		2,359	10.6%	4,936	16.3%	2,576	109.2%
中間純利益		1,685	7.6%	4,096	13.5%	2,410	143.0%
１株あたり四半期純利益			57.44円		151.36円		+93.92円
平均為替レート	米ドル		139.56円		151.63円		+12.07円
	ユーロ		151.21円		164.70円		+13.49円

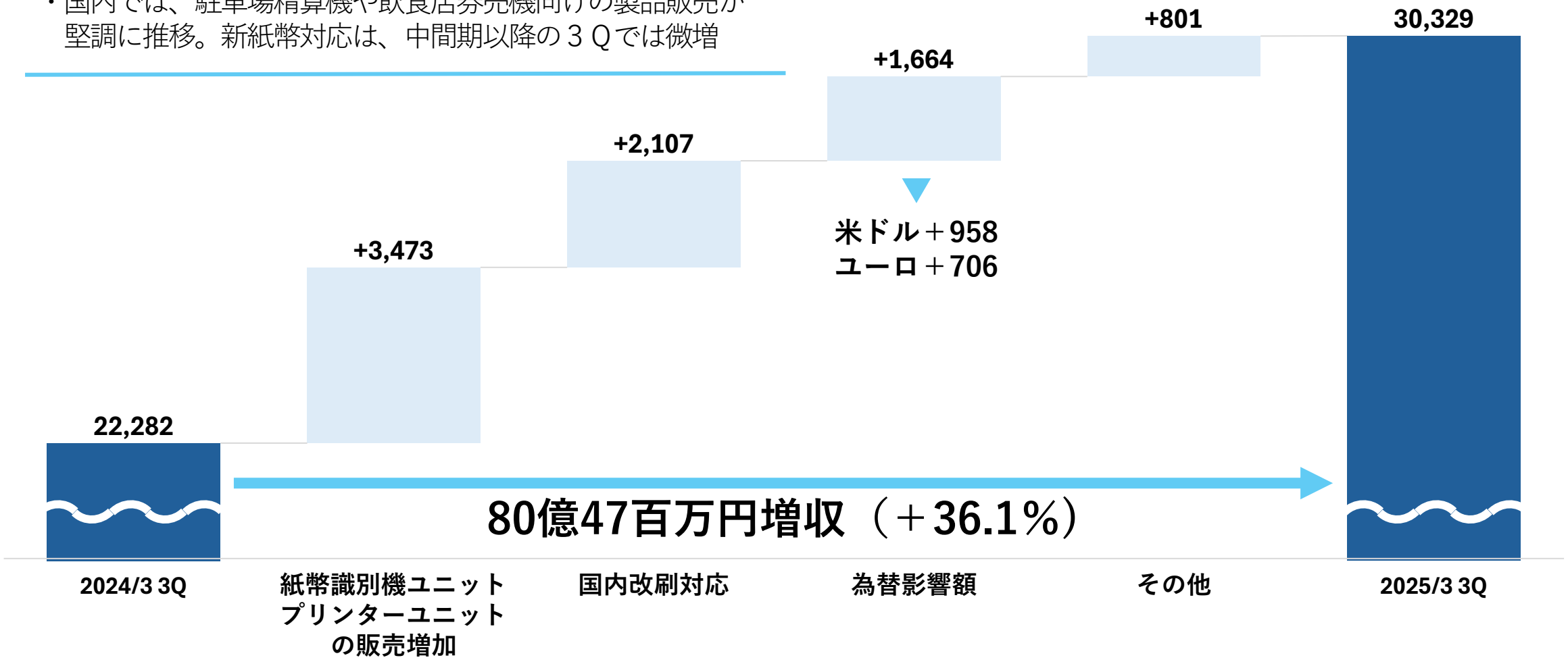
第３四半期連結業績概要-売上高増減要因

単位：百万円

主な増減要因

・カジノゲーム機向けの製品が北米・欧州ともに高水準で推移

・国内では、駐車場精算機や飲食店券売機向けの製品販売が堅調に推移。新紙幣対応は、中間期以降の３Ｑでは微増



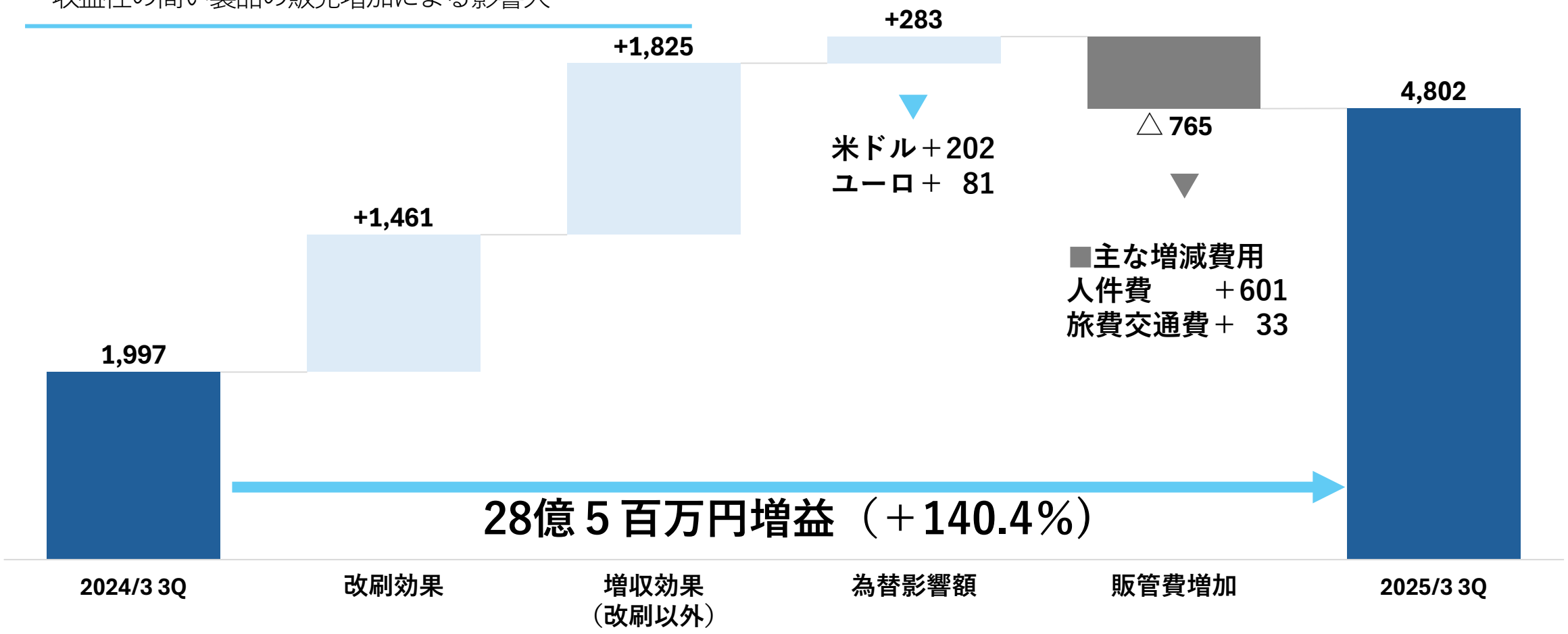
第３四半期連結業績概要-営業利益増減要因

単位：百万円

■主な増減要因

・海外、国内ともに売上増加による効果大

・中間期まで高い需要にあった新紙幣の改刷対応に伴う収益性の高い製品の販売増加による影響大



本資料の内容

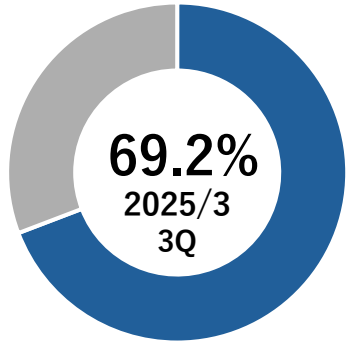
- 第３四半期連結業績ハイライト
- 第３四半期連結業績概要
  - 売上高増減要因
  - 営業利益増減要因
- **セグメント別概要**
  - グローバルゲーミング
  - 海外コマーシャル
  - 国内コマーシャル
  - 遊技場向機器
- 通期連結業績予想
  - セグメント別業績予想
- 株主還元

- 参考資料
  - 会社概要
  - 沿革
  - 株価・PBR・ROE
  - 連結貸借対照表
  - 連結キャッシュ・フローの状況
  - 設備投資額・減価償却費・研究開発費
  - 為替影響
  - 市場シェア
  - Topics－各事業における取り組み
  - サステナビリティへの取り組み

セグメント別概要

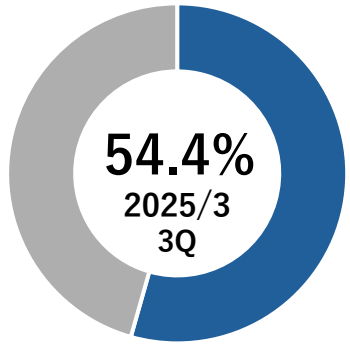
単位：百万円	2024/3 3Q	2025/3 3Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	22,282	30,329	8,947	+36.1%
グローバルゲーミング	11,597	16,395	4,797	+41.4%
海外コマーシャル	4,275	4,604	329	+7.7%
国内コマーシャル	1,873	3,314	1,441	+77.0%
遊技場向機器	4,536	6,015	1,478	+32.6%
営業利益	1,997	4,802	2,805	+140.4%
グローバルゲーミング	1,927	3,597	1,211	+86.7%
海外コマーシャル	△ 50	△ 411	△ 360	—
国内コマーシャル	244	1,130	886	+362.6%
遊技場向機器	774	1,536	761	+98.3%
調整額（各セグメントに配分していない全社費用）	△ 898	△ 1,050	△ 152	—

海外売上高比率



（2024/3 3Q　71.2%）

海外営業利益比率



（2024/3 3Q　64.8%）

セグメント別概要-グローバルゲーミング

■事業概要
主な市場は、北米のカジノや欧州のストリートのゲーム場
カジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホールの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先
スロットマシンメーカー、カジノホテル

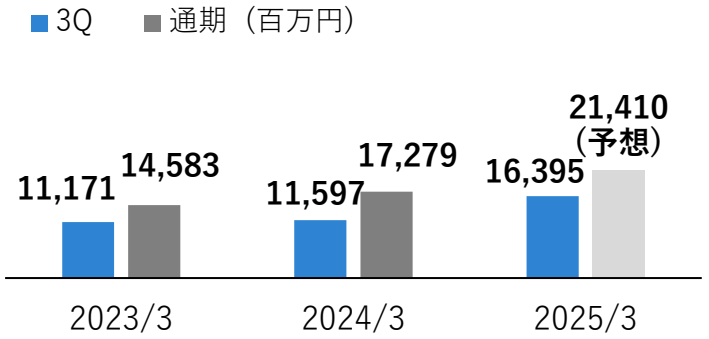
■業績概況
カジノホテル等の設備投資意欲は高水準で推移し、紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が増加

■第４四半期の見通し
市場環境は引き続き良好に推移
カジノゲーム機搭載用の製品販売の増加を見込む

売上高

16,395 百万円

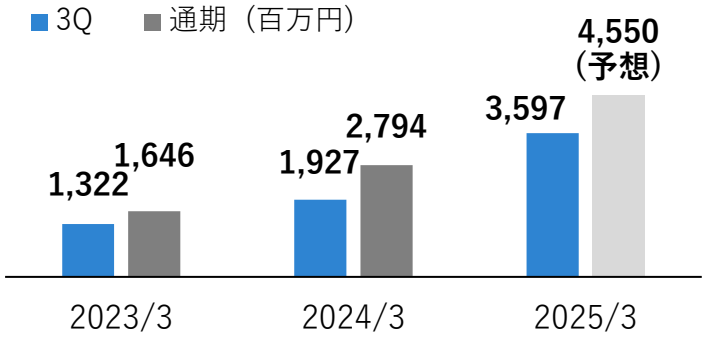
前年同期比 41.4 %増



営業利益

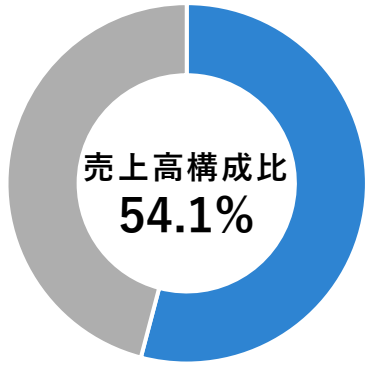
3,597 百万円

前年同期比 86.7 %増



主な製品

プリンターユニット



紙幣識別機ユニット

カジノホール現金回収業務
自動化システム

テーブルゲームシステム
（紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載）

セグメント別概要-海外コマーシャル

■**事業概要**
流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

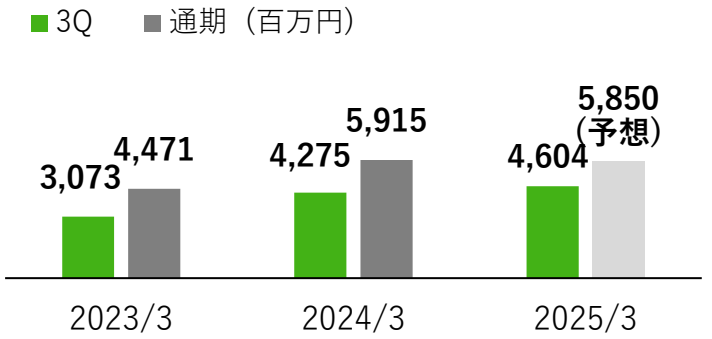
■**主な納入先**
完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

■**業績概況**
欧州及びアジア地域におけるセルフレジ精算機向けの紙幣還流ユニットの販売増加
新市場開拓に向けた新製品の研究開発等の増加に伴い、営業利益は損失を計上

■**第４四半期の見通し**
欧州及びアジア地域の製品需要は堅調
新市場開拓には、なお時間を要する

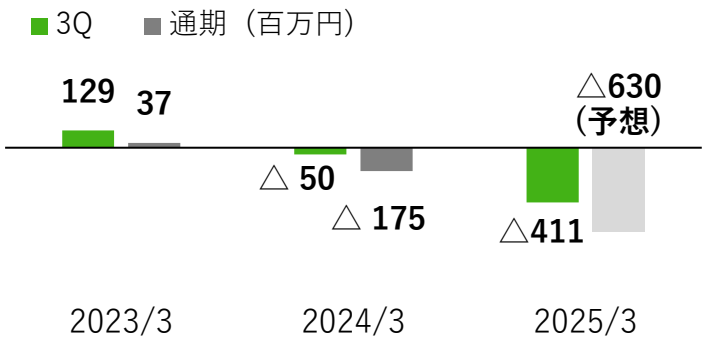
売上高

4,604 百万円　前年同期比 **7.7 %増**

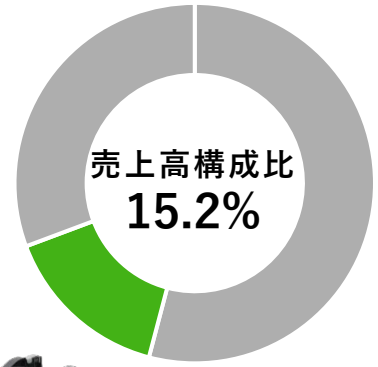


営業利益

△411 百万円　前年同期比 **—**



主な製品



紙幣還流ユニット

自動釣銭機

紙幣識別機ユニット

セグメント別概要-国内コマーシャル

■**事業概要**
流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

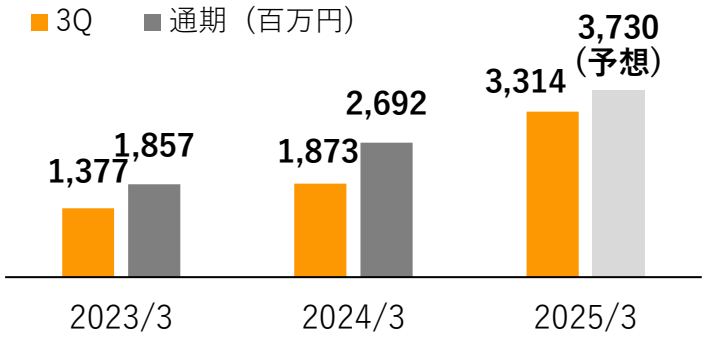
■**主な納入先**
完成品メーカー
（飲食店セルフ精算機、コインパーキング、
セルフガソリンスタンド、バス等）

■**業績概況**
中間期までに新紙幣改刷対応の更新需要は一巡
駐車場精算機及び飲食店券売機向けの紙幣還流ユニットの販売が順調

■**第４四半期の見通し**
新紙幣改刷対応に伴う各顧客の先行投資の影響による製品販売減を見込み、利益面の増加は限定的

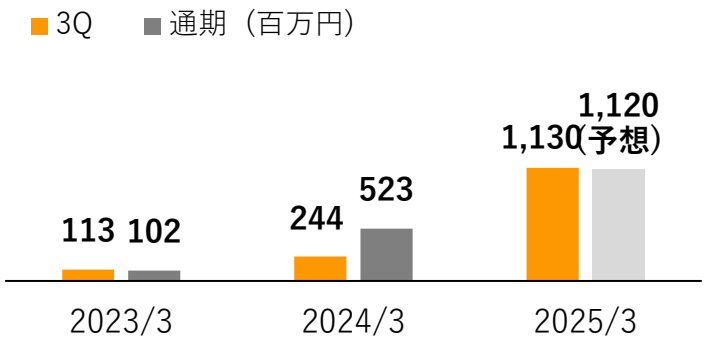
売上高

3,314 百万円　前年同期比 **77.0%増**

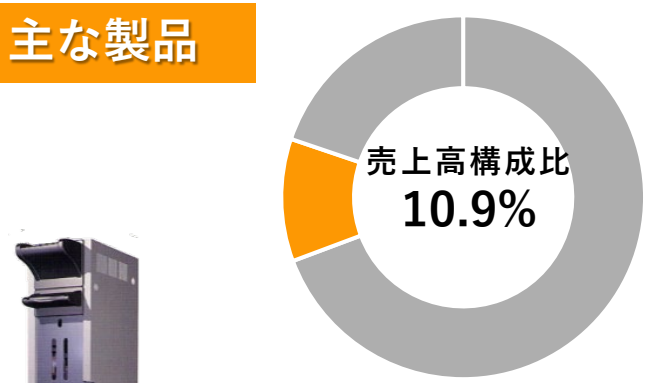


営業利益

1,130 百万円　前年同期比 **362.6 %増**



主な製品



紙幣還流ユニット

キャッシュレス対応
自動精算機

硬貨還流ユニット

セグメント別概要-遊技場向機器

■事業概要
パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

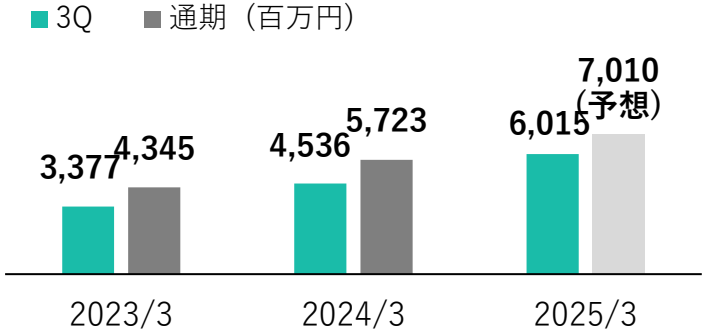
■主な納入先
パチンコホール

■業績概況
新紙幣の改刷対応を後押しに紙幣搬送システムを含む周辺機器の販売が増加

■第４四半期の見通し
スマート遊技機の導入状況は落ち着きつつあり、利益面で大きく貢献していた新紙幣の改刷対応の需要が一巡したことで、利益面の増加は限定的

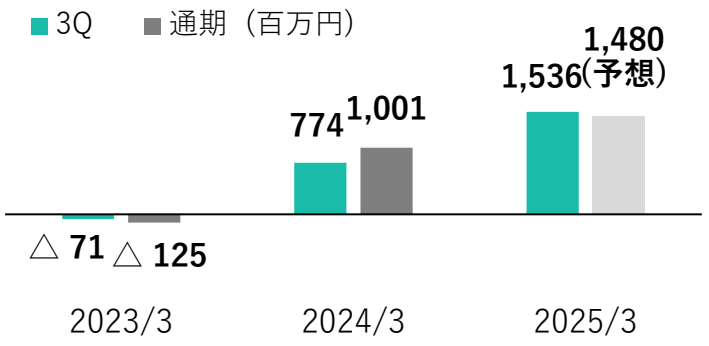
売上高

6,015 百万円　前年同期比 32.6 %増



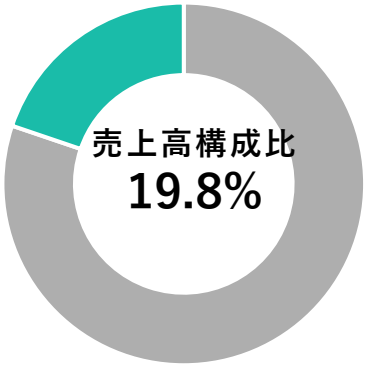
営業利益

1,536 百万円　前年同期比 98.3 %増



主な製品

景品管理POS



紙幣搬送システム

景品払出機

スマート遊技機
専用ユニット

本資料の内容

■ 第３四半期連結業績ハイライト

■ 第３四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ **通期連結業績予想**

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

通期連結業績予想

■ 通期連結業績予想の上方修正を実施（2025年2月6日付）

【売上高】グローバルゲーミングが好調を維持
前期下半期から続く、国内新紙幣の改刷対応需要は一巡するも、国内コマーシャルは堅調に推移

【営業利益】上半期を中心に、国内新紙幣の改刷対応による収益性の高い製品増により前期比大幅増の見込

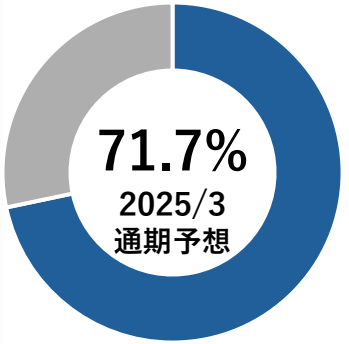
単位：百万円	2024/3						2025/3						前期比増減
	上半期		下半期		通期		上半期		下半期予想		通期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	13,321	100.0%	18,288	100.0%	31,610	100.0%	21,253	100.0%	16,746	100.0%	38,000	100.0%	+6,389
営業利益	919	6.9%	1,919	10.5%	2,839	9.0%	3,755	17.7%	1,344	8.0%	5,100	13.4%	+2,260
経常利益	1,756	13.2%	1,811	9.9%	3,568	11.3%	2,993	14.1%	1,906	11.4%	4,900	12.9%	+1,331
当期純利益	1,371	10.3%	1,910	10.4%	3,281	10.4%	2,490	11.7%	1,409	8.4%	3,900	10.3%	+618
ROE		－		－		11.8%		－		－		12.7%	+0.9pt
1株当たり当期純利益		46.73円		－		112.59円		91.80円		－		144.12円	+31.53円

平均為替レート	米ドル	136.54円	145.87円	141.20円	154.09円	149.41円	152.28円	+11.08円
	ユーロ	147.93円	158.46円	153.20円	166.22円	163.80円	164.45円	+11.25円

通期連結業績予想-セグメント別業績予想

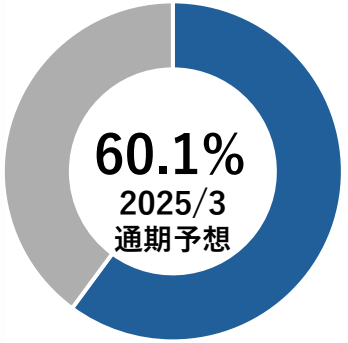
単位：百万円	2024/3			2025/3			前期比増減額
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期予想	通期予想	
売上高	13,321	18,288	31,610	21,253	16,746	38,000	+6,389
グローバルゲーミング	6,531	10,747	17,279	10,684	10,725	21,410	+4,130
海外コマーシャル	2,710	3,205	5,915	3,436	2,413	5,850	△ 65
国内コマーシャル	1,017	1,674	2,692	2,422	1,307	3,730	+1,037
遊技場向機器	3,061	2,661	5,723	4,710	2,299	7,010	+1,286
営業利益	919	1,919	2,839	3,755	1,344	5,100	+2,260
グローバルゲーミング	1,075	1,718	2,794	2,287	2,262	4,550	+1,755
海外コマーシャル	△ 137	△ 38	△ 175	△ 172	△ 457	△ 630	△ 454
国内コマーシャル	28	495	523	954	165	1,120	+596
遊技場向機器	491	510	1,001	1,388	91	1,480	+478
調整額（各セグメントに配分していない全社費用）	△ 538	△ 766	△ 1,305	△ 702	△ 717	△ 1,420	△ 114

海外売上高比率



（2024/3 通期　73.4%）

海外営業利益比率



（2024/3 通期　63.2%）

本資料の内容

- **第３四半期連結業績ハイライト**
- **第３四半期連結業績概要**
  - 売上高増減要因
  - 営業利益増減要因
- **セグメント別概要**
  - グローバルゲーミング
  - 海外コマーシャル
  - 国内コマーシャル
  - 遊技場向機器
- **通期連結業績予想**
  - セグメント別業績予想
- **株主還元**

- **参考資料**
  - 会社概要
  - 沿革
  - 株価・PBR・ROE
  - 連結貸借対照表
  - 連結キャッシュ・フローの状況
  - 設備投資額・減価償却費・研究開発費
  - 為替影響
  - 市場シェア
  - Topics－各事業における取り組み
  - サステナビリティへの取り組み

株主還元

2025年3月期の期末配当予想

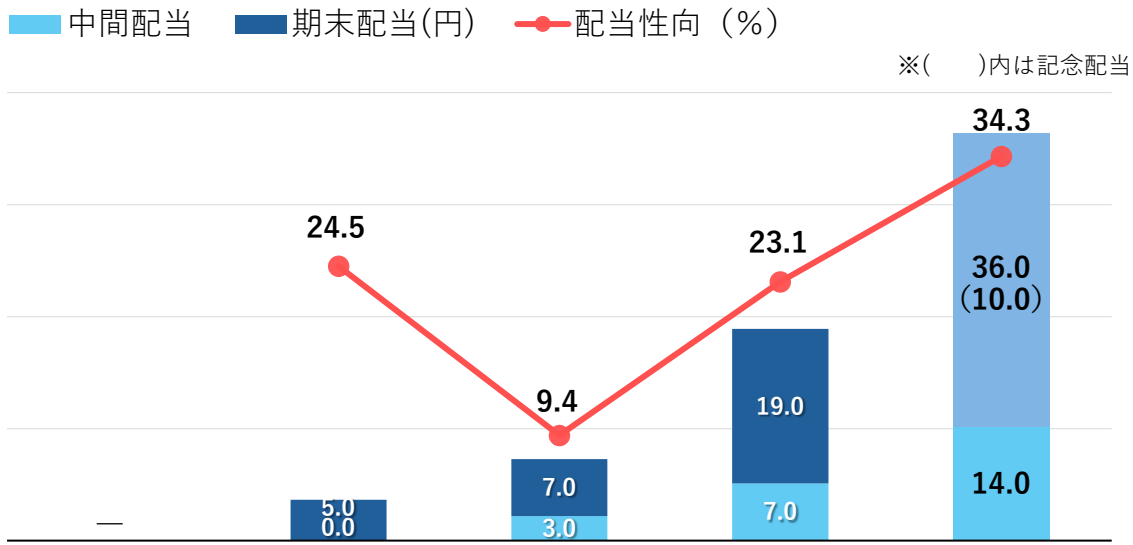
普通配当　　１株当たり26円
記念配当（創業70周年）　１株当たり10円

中間配当 普通配当１株当たり14円 とあわせて 2025年３月期の年間普通配当は、１株につき50円

配当方針

業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）30%以上 *1
- 純資産配当率（連結）2.0%以上



	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 *2	2025/3（予想）*3
純資産配当率（%）	—	0.7	1.2	2.7	4.4

*1　ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。　*2　2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。　*3　2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。

本資料の内容

- **第３四半期連結業績ハイライト**
- **第３四半期連結業績概要**
  - 売上高増減要因
  - 営業利益増減要因
- **セグメント別概要**
  - グローバルゲーミング
  - 海外コマーシャル
  - 国内コマーシャル
  - 遊技場向機器
- **通期連結業績予想**
  - セグメント別業績予想
- **株主還元**

- **参考資料**
  - 会社概要
  - 沿革
  - 株価・PBR・ROE
  - 連結貸借対照表
  - 連結キャッシュ・フローの状況
  - 設備投資額・減価償却費・研究開発費
  - 為替影響
  - 市場シェア
  - Topics－各事業における取り組み
  - サステナビリティへの取り組み

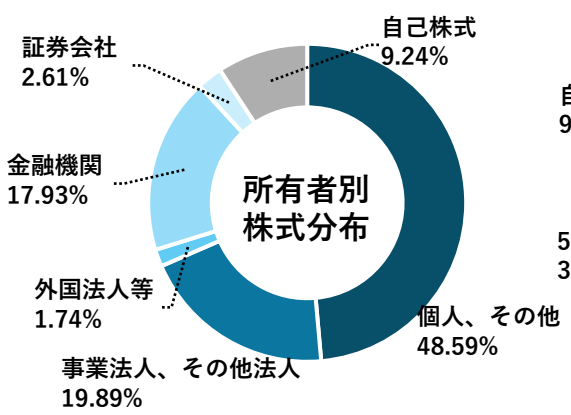
参考資料-会社概要

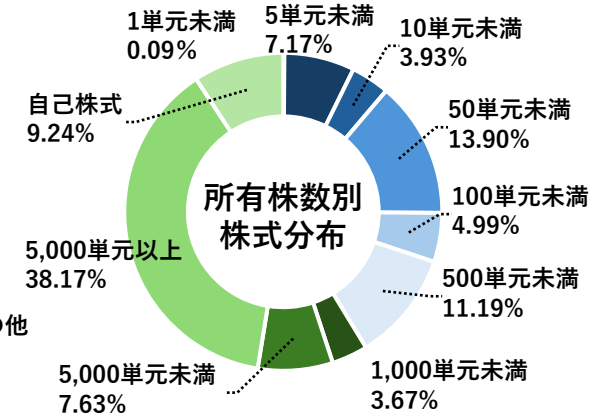
商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長　上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号 パークスサウススクエア

上場区分	東証プライム市場
社員数	564名（2024年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2024年3月31日現在）
事業所	本社　（大阪市浪速区）、東京本社　（東京都中央区）、長浜工場　（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、シカゴ）、ブラジル、ドイツ、タイ、フィリピン

株式の状況（2024年9月30日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	19,454名





株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,788	10.35
上東 洋次郎	1,458	5.41
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	711	2.64
上東 好子	638	2.37
株式会社りそな銀行	563	2.09
株式会社三井住友銀行	503	1.87
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.61
日本生命保険相互会社	403	1.50
日本金銭機械従業員持株会	320	1.19

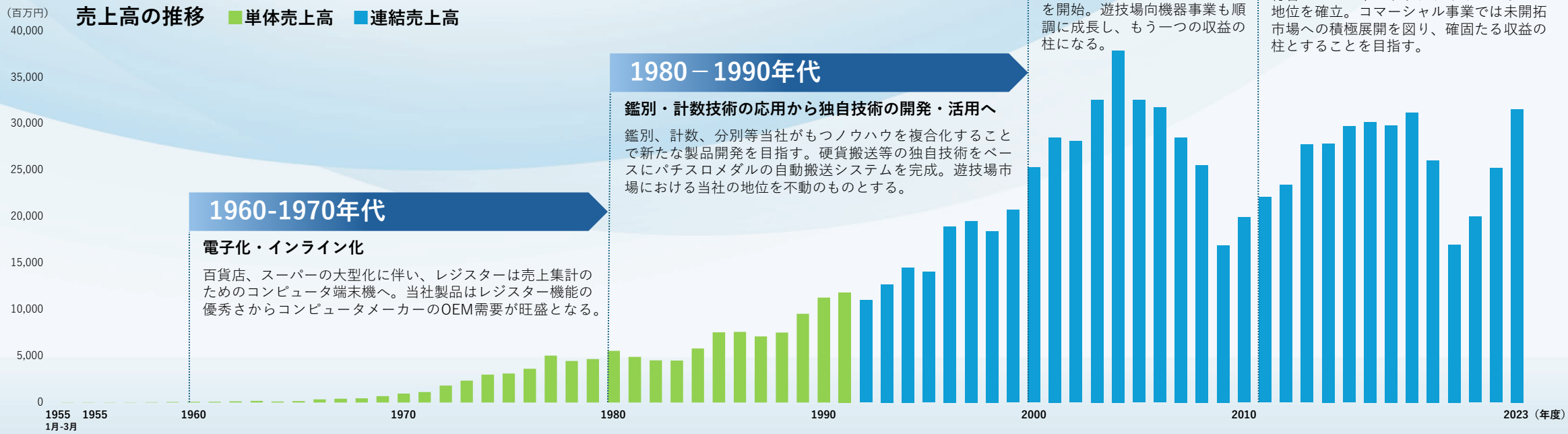
（注）1. 当社は自己株式を2,741,263株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

**1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野で、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。
世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして新たな価値を提供し、グローバル企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。**

売上高の推移

■単体売上高 ■連結売上高



1960-1970年代

電子化・インライン化

百貨店、スーパーの大型化に伴い、レジスターは売上集計のためのコンピュータ端末機へ。当社製品はレジスター機能の優秀さからコンピュータメーカーのOEM需要が旺盛となる。

1980－1990年代

鑑別・計数技術の応用から独自技術の開発・活用へ

鑑別、計数、分別等当社がもつノウハウを複合化することで新たな製品開発を目指す。硬貨搬送等の独自技術をベースにパチスロメダルの自動搬送システムを完成。遊技場市場における当社の地位を不動のものとする。

2000年代

欧米市場への貨幣処理機器事業の展開/遊技場関連機器のニーズに対応

多国紙幣対応紙幣識別機の販売を開始。遊技場向機器事業も順調に成長し、もう一つの収益の柱になる。

2010年以降

コアとなる識別・搬送技術を追求し、時代を先取りする技術革新につなげる

グローバルゲーミング事業、遊技場向機器事業では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を活用し、シナジー効果を享受するとともに、総合コンポーネントサプライヤーとしての地位を確立。コマーシャル事業では未開拓市場への積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す。

会社設立

レジスターの製造開始

紙幣識別機の製造開始

米国に子会社設立

欧州に子会社設立

東京本社、新事務所の業務開始

ゲーミング市場向けプリンターユニット製造販売会社を取得、子会社化

フィリピンに子会社設立

米国、ブラジルに子会社設立

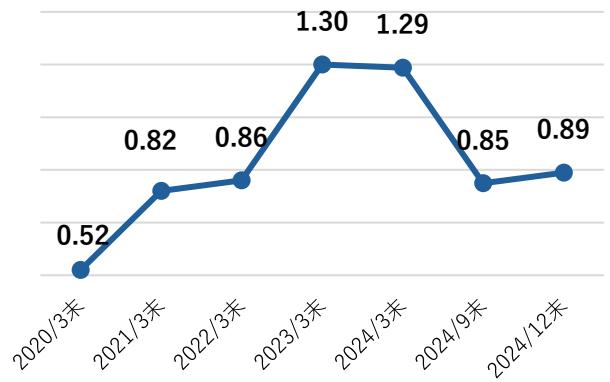
参考資料-株価・PBR・ROE

株価の推移

PBR

0.89倍（2024/12末）

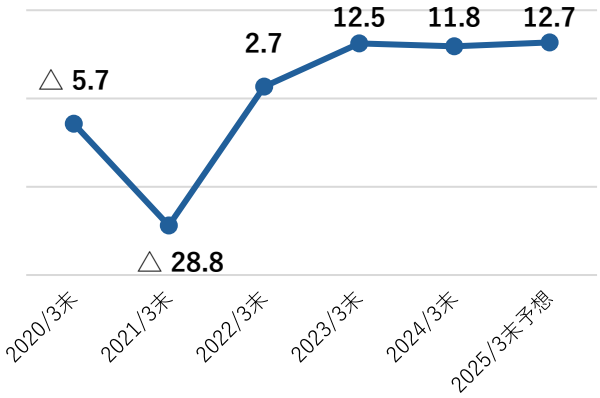
持続的な維持・向上に
向けた基準値
1.0倍以上



ROE

12.7%（2025/3末予想）

中期経営計画目標値
8%以上



参考資料-連結貸借対照表

■ 資産、負債及び純資産：+5億94百万円

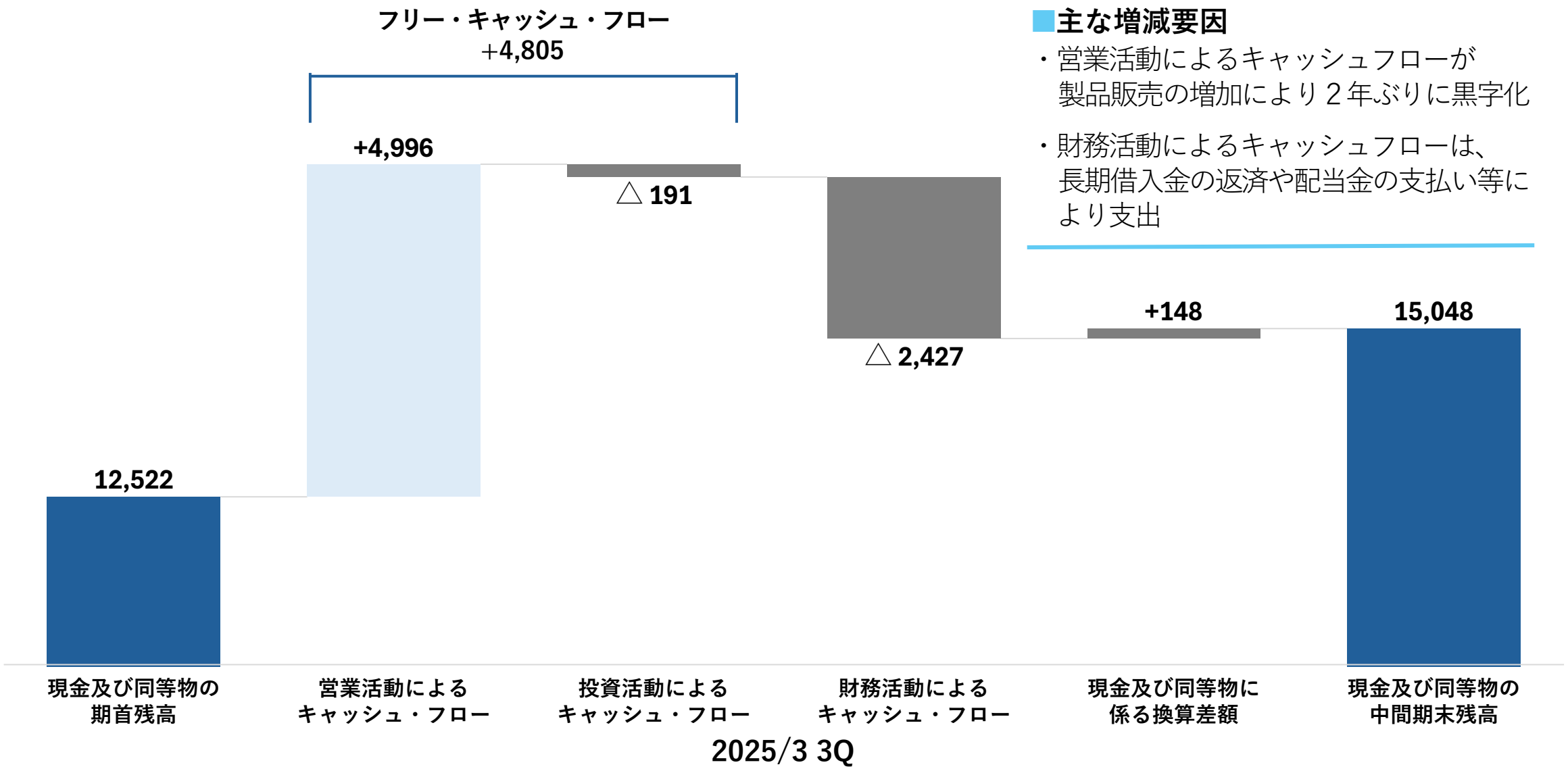
- 流動資産　＋7億67百万円：現預金の増加、棚卸資産の減少
- 流動負債　△10億22百万円：主に買掛債務の減少
- 純資産　　＋17億72百万円：利益剰余金の増加

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2024/12末	増減
	現預金・有価証券	13,711	12,580	15,084	+2,503
	売掛債権	5,005	7,056	7,638	+582
	棚卸資産	11,610	19,564	17,412	△ 2,152
	その他	1,945	941	775	△ 166
流動資産合計		32,273	40,143	40,910	+767
	有形固定資産	3,338	3,950	3,948	△ 1
	無形固定資産	143	219	198	△ 21
	投資その他の資産	3,025	3,261	3,127	△ 133
固定資産合計		6,508	7,431	7,274	△ 156
	繰延資産その他	35	123	107	△ 15
繰延資産合計		35	123	107	△ 15
資産合計		38,816	47,698	48,293	+594

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2024/12末	増減
	買掛債務	3,559	4,583	3,042	△ 1,541
	短期借入金	600	1,260	1,500	+240
	その他	3,466	3,417	3,695	+278
流動負債合計		7,625	9,260	8,238	△ 1,022
	社債・長期借入	3,500	9,540	9,450	△ 90
	その他	527	242	177	△ 64
固定負債合計		4,027	9,782	9,627	△ 154
負債合計		11,653	19,042	17,865	△ 1,177
	資本金	2,220	2,220	2,220	+0
	資本・利益剰余金	24,465	27,335	30,515	+3,179
	その他	477	△ 900	△ 2,307	△ 1,407
純資産合計		27,163	28,655	30,427	+1,772
負債純資産合計		38,816	47,698	48,293	+594

参考資料-連結キャッシュ・フローの状況

単位：百万円



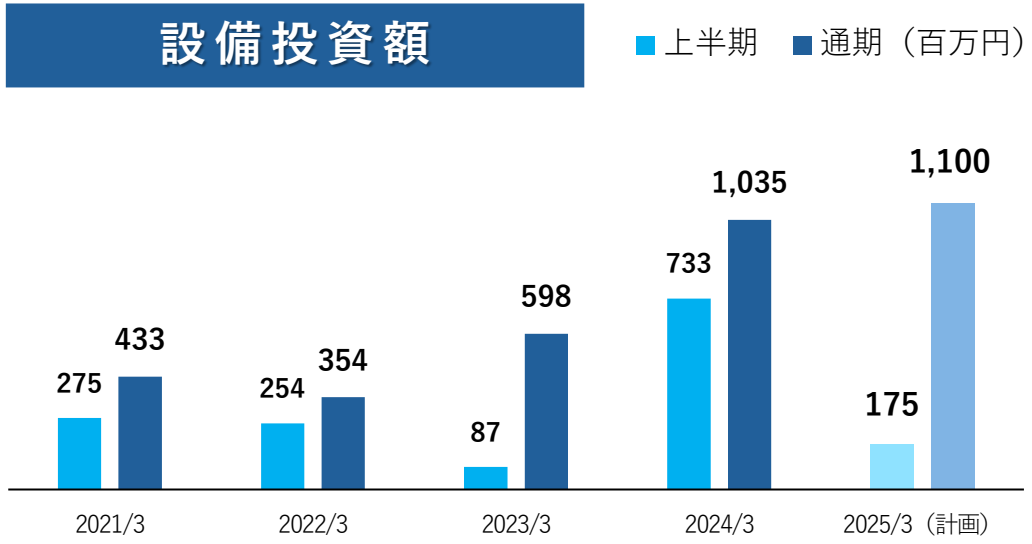
主な増減要因

・営業活動によるキャッシュフローが製品販売の増加により２年ぶりに黒字化

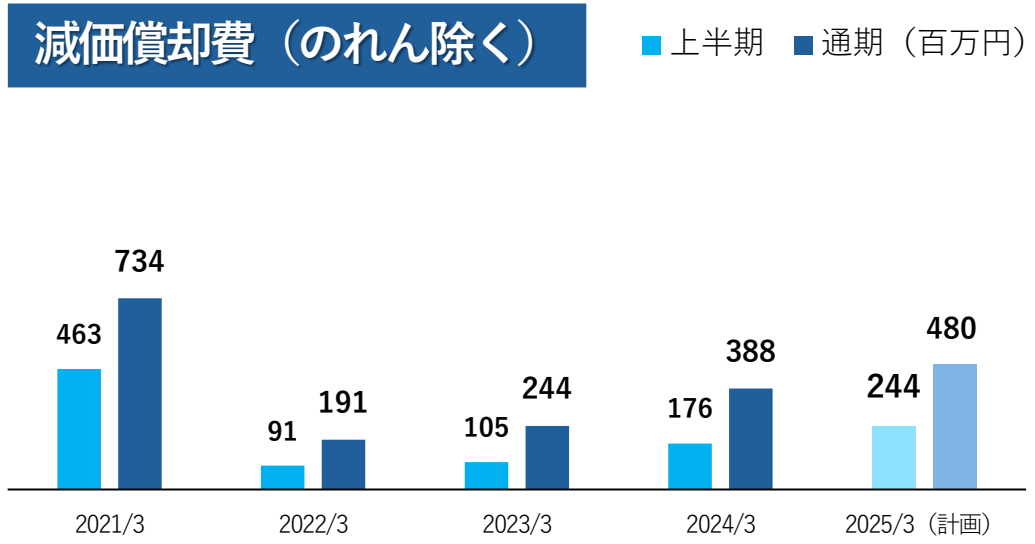
・財務活動によるキャッシュフローは、長期借入金の返済や配当金の支払い等により支出

参考資料-設備投資額・減価償却費・研究開発費

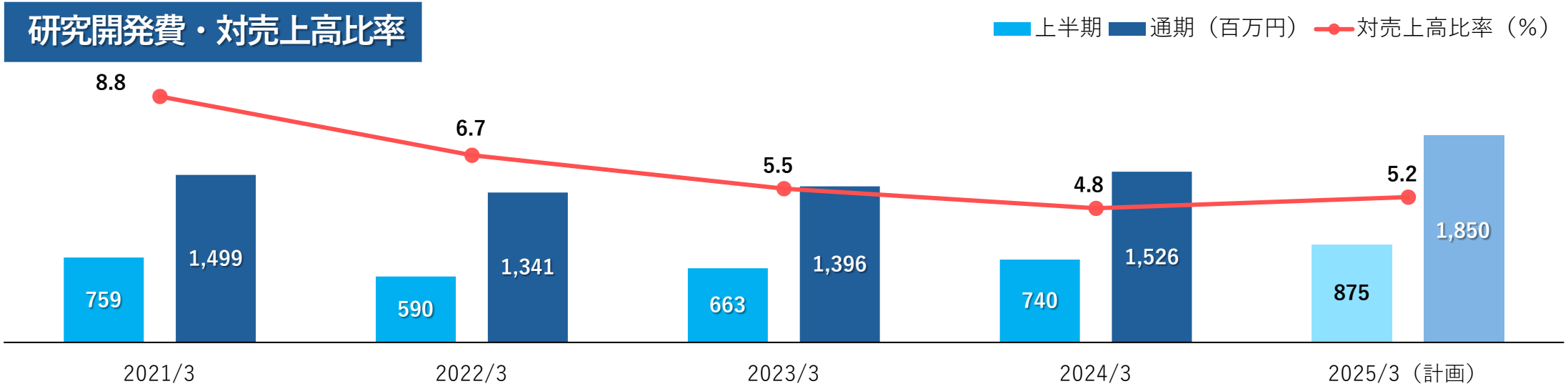
設備投資額



減価償却費（のれん除く）



研究開発費・対売上高比率



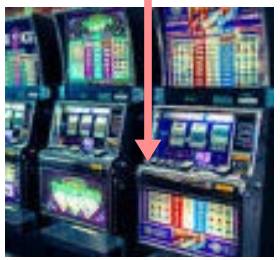
■為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3 予想
期中平均レート	米ドル	106.44円	110.37円	132.08円	141.20円	152.28円
	ユーロ	121.95円	130.37円	138.58円	153.20円	164.45円
売上高	**米ドル**	**71**	**87**	**91**	**99**	**115**
	ユーロ	**33**	**35**	**48**	**59**	**30**
営業利益	**米ドル**	**29**	**30**	**11**	**14**	**52**
	ユーロ	**4**	**5**	**3**	**3**	**5**
期末日レート	米ドル	110.72円	122.41円	133.54円	151.42円	―
	ユーロ	129.82円	136.85円	145.76円	163.38円	―
営業外損益	**米ドル**	**40**	**42**	**40**	**33**	―
	ユーロ	**5**	**4**	**4**	**5**	―

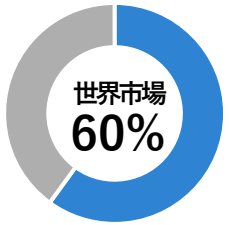
参考資料-市場シェア　※各製品のシェアは、当社推定値

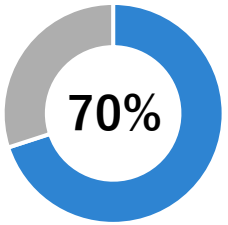
グローバルゲーミング

プリンターユニット



紙幣識別機ユニット





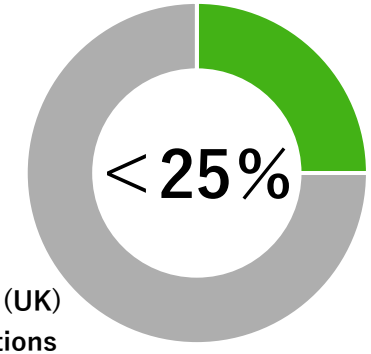
■競合企業
・Transact（USA）
・Nanoptix（CAN）

■競合企業
・Crane payment innovations
（MEI、Cash Code、
Money Control（USA））
・Innovative Technology（UK）

海外コマーシャル

紙幣還流ユニット

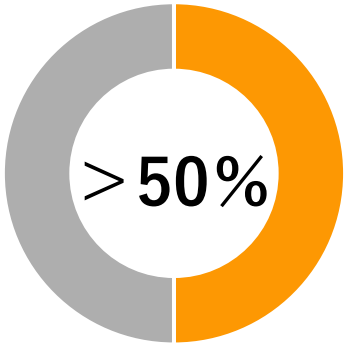
■競合企業
・Innovative Technology（UK）
・Crane payment innovations
（MEI、Cash Code、Money Control（USA））



国内コマーシャル

紙幣還流ユニット

硬貨還流ユニット



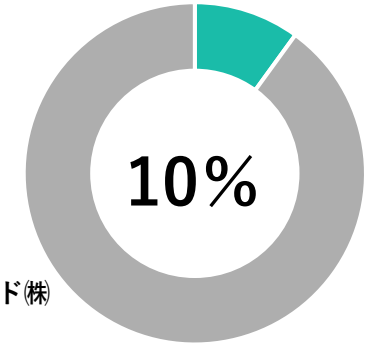
■競合企業
・グローリー㈱
・㈱高見沢サイバネティックス

遊技場向機器

スマート遊技機専用ユニット

景品管理POS

■競合企業
・日本ゲームカード㈱
・ダイコク電機㈱
・グローリーナスカ㈱



参考資料- Topics 「ゲーミング事業における取り組み」

グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と
各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、
世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。

世界最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo
ラスベガス

欧州最大のゲーミングショー
International Casino Exhibition
バルセロナ

アジア最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo ASIA
マカオ

■カジノ向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、
幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、
コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、
積極的な販売提案活動に注力しております。

北米最大の金融・流通向け展示会
National Retail Federation 2025
ニューヨーク

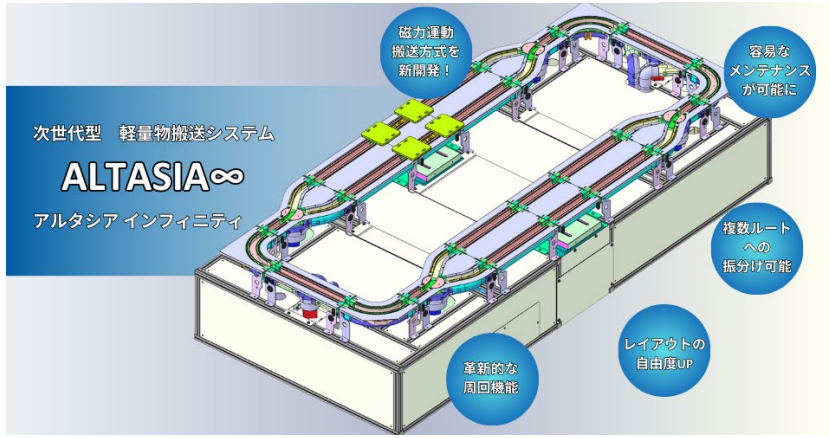
アジアの金融・流通向け展示会
ASEAN Retail 2024
シンガポール
National Retail Federation Asia 2024
タイ

南米の金融・流通向け展示会
FEBRABAN TECH 2024
ブラジル

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、
新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。

■ALTASIA∞（アルタシア インフィニティ）が2024年度グッドデザイン賞を受賞

GOOD DESIGN AWARD 2024



製品WEBサイト：次世代型軽量物搬送システム ALTASIA∞

ALTASIA∞は、遊技場向けの紙幣搬送システム（ALTASIA）に採用したエアーと磁力による搬送駆動方式を用いて、本方式の特徴である省エネ運転と自由度の高い搬送経路などの優位性はそのままに、重量物等の対応を図ることで外食、小売り、物流等の幅広い産業分野での物品の供給や回収、工場内における物品搬送等の省力化を実現できる製品であります。

既に各企業との間で秘密保持契約を締結するなど、本製品の市場導入に向けた具体的な構想を着々と進めている段階であります。

グッドデザイン賞 受賞掲載WEBサイト（次世代型軽量物搬送システム アルタシア∞）

■地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンターと共同研究開発を開始

日本金銭機械株式会社 × 特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

大阪国際がんセンターと「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するためのAI 判定支援システム」の共同研究開発を開始いたします。
今後は、当社が貨幣処理機器分野で培ったコアテクノロジーを医療領域を始めとする様々な領域での貢献に向けて、挑戦してまいります。

ニュースリリース：Go-Tech事業「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するためのAI 判定支援システムの研究開発」の共同研究を開始

参考資料-サステナビリティへの取り組み

■環境

気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope１、２について、2025年度までに温室効果ガス排出量30％削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標　（単位：t-CO_2）

2018年度実績（基準年）	2025年度目標	2018年度実績比	削減に向けた対応	2022年度実績（参考）
1,071	750	△30.0%	・カーボンニュートラル都市ガスの導入検討 ・省エネルギー性能の高い社屋への本社移転 ・本社、東京本社および長浜工場での再生可能エネルギーの導入検討 ・長浜工場およびフィリピン工場での太陽光パネル設置検討	970

■人的資本

当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。
今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績（2024年3月期）
採用に占める女性比率	単体	30%以上	38.8%
正社員に占める女性従業員比率	単体	2032年までに20%	16.6%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書　https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html

日本金銭機械株式会社（日本語） https://www.jcm-hq.co.jp

JCM Global（English） https://jcmglobal.com

過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。
「投資家情報」➡「IRライブラリー」➡「決算短信・補足説明資料」

お問合せ先 ： 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。
なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。